



# Sun™ Management Center 3.6

## Version 3 Sun Fire™ エントリーレベル ミッドレンジシステムのための アドオンソフトウェア ご使用にあたって

---

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 819-6526-10  
2006 年 4 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Java、AnswerBook2、docs.sun.com、Sun Management Center、Sun Fire、および Netra は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されません。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Management Center 3.6 Version 3 Add-On Software Release Notes for Sun Fire Entry-Level Midrange Systems Part No: 819-6446-10 Revision A
-----	---



# 目次

---

Sun Management Center 3.6 Version 3 Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムのためのアドオンソフトウェアご使用にあたって	1
このリリースでの新しい機能	1
サポートされるシステムと環境	2
推奨パッチ	3
マニュアル	3
アドオンソフトウェアの入手	4
インストール	4
Sun Management Center 3.6 ソフトウェアからのアップデート	5
▼ Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の 3.6 アドオンソフトウェアをアンインストールする。	6
▼ Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアをインストールする。	6
Sun Management Center 3.6 ソフトウェアのインストール	7
▼ Sun Management Center 3.6 ソフトウェアをインストールする	7
判明している問題点	8
「CPU ユニットテーブル」で使用不可の CPU の状態が online と表示される	8
動的再構成 (DR) 操作後、または PSU か HDD のホットスワップ後の picl の再起動	8



# Sun Management Center 3.6

## Version 3 Sun Fire エントリーレベル ミッドレンジシステムのためのアド オンソフトウェアご使用にあたって

---

この文書には、Sun Fire™ エントリーレベルミッドレンジシステム用の Sun Management Center 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアの、このリリースに関する情報が記載されています。次の内容で構成されています。

- 1 ページの「このリリースでの新しい機能」
- 2 ページの「サポートされるシステムと環境」
- 3 ページの「推奨パッチ」
- 3 ページの「マニュアル」
- 4 ページの「アドオンソフトウェアの入手」
- 4 ページの「インストール」
- 8 ページの「判明している問題点」

---

## このリリースでの新しい機能

ここでは、Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の Sun Management Center アドオンソフトウェアの以前のバージョンからの変更点について説明します。このソフトウェアでは、新たに Netra™ 1290 のサポートが追加されました。

# サポートされるシステムと環境

Sun Management Center 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアは、次のシステムをサポートします。

- Netra 1290
- Sun Fire E2900
- Sun Fire V1280

注 – Netra™ 1280 システムは、Sun Management Center 3.6 主要ソフトウェアと同梱の Netra アドオンソフトウェアによってサポートされます。

表 1 に、Sun Management Center 3.6 Version 3 ソフトウェアに必要なソフトウェアのバージョンを示します。

表 1 ソフトウェアバージョン最低要件

ホスト	必要なソフトウェア	バージョン
サーバーマシン	Solaris オペレーティングシステム*	8 2/04 9 9/04 10 <sup>†</sup>
	Sun Management Center サーバーベースソフトウェア	3.6
	Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の Sun Management Center アドオンソフトウェア	3.6 Version 3
	監視対象プラットフォーム	Solaris オペレーティングシステム* (プラットフォームにより異なる) <sup>†</sup>
ワークステーションまたは共通のネットワーク (コンソールレイヤ)	Sun Management Center ベースソフトウェア	3.6
	Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の Sun Management Center アドオンソフトウェア	3.6 Version 3
	Solaris オペレーティングシステム*	8 2/04 9 9/04 10 <sup>†</sup>
	Sun Management Center コンソールベースソフトウェア	3.6

\* Solaris オペレーティングシステムは、少なくとも「End User Systems Support」のディストリビューションである必要があります。

† Solaris オペレーティング環境は、サポート対象のプラットフォームによって異なります。ご使用のプラットフォームでサポートされる Solaris のバージョンの詳細は、各プラットフォームのマニュアルを参照してください。

---

注 – Sun Management Center のサーバーマシンとエージェントマシンでは同じバージョンのアドオンソフトウェアを使用する必要があります。

---

---

## 推奨パッチ

主要 Sun Management Center 3.6 アプリケーション、およびこのアドオンソフトウェア用に、ご使用のプラットフォームに適用できる Solaris ソフトウェアのパッチおよび Sun Management Center のパッチが提供されている可能性があります。

---

注 – Sun Management Center 3.6 ソフトウェアおよびこのアドオンをインストールする前に、ご使用のプラットフォームおよびオペレーティングシステム用の必須パッチをすべてインストールする必要があります。

---

Sun とサービス契約を結んでいる場合は、次の場所からパッチをダウンロードできます。

<http://sunsolve.sun.com>

Sun Management Center 3.6 の最新アップデートに必要なパッチについての詳細は、対応する Sun Management Center ソフトウェアの『ご使用にあたって』を参照してください。

---

## マニュアル

この文書は、『Sun Management Center 3.5 バージョン 6 Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムのための追補マニュアル』(819-3989-10) の内容に関する追加情報を含んでいます。この追補マニュアルの「はじめに」の関連マニュアルの一覧にはありませんが、『Netra 1290 Server System Administration Guide』が参考になる場合があります。

Sun のマニュアルは、次の場所で検索して入手できます。

<http://www.sun.com/documentation/>

---

## アドオンソフトウェアの入手

Sun Management Center 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアパッケージは、次のダウンロードサイトで zip ファイルで提供されています。

<http://www.sun.com/software/download/index.html>

「New Downloads」の一覧に Sun Management Center 3.6 Version 3 の項目がない場合は、「All Products」の「A-Z Index」を使用してソフトウェアを探します。

---

## インストール

Sun Management Center 3.6 ソフトウェアのインストールと設定については、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。この、3.6 Version 3 アドオンソフトウェアは、インストール手順を変更して、別途 zip ファイルを使用してインストールする必要があります。図 1 に、インストール処理の概要を示します。



---

**注意** – Sun Management Center ソフトウェアで提供されているインストールスクリプトおよびセットアップスクリプトを使用してください。手動でパッケージをインストールしたり、手動で構成ファイルを変更してはいけません。

---

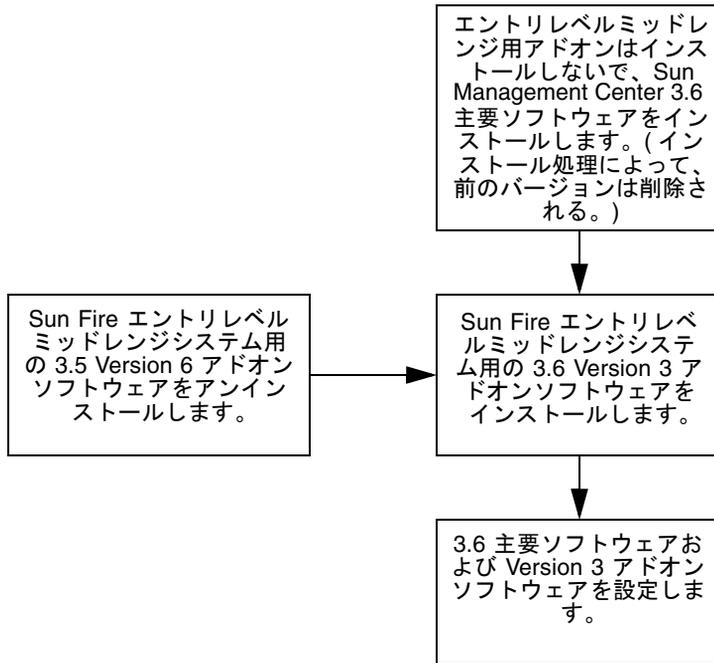


図 1 インストール処理のながれ

## Sun Management Center 3.6 ソフトウェアからのアップデート

ご使用のサーバーおよびコンソールシステムに、すでに Sun Management Center 3.6 主要ソフトウェアがインストールされている場合は、次の手順に従います。

- 6 ページの「Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の 3.6 アドオンソフトウェアをアンインストールする。」 - Sun Management Center 3.6 主要ソフトウェアに含まれるこのバージョンの Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用のアドオンソフトウェアが、ご使用のシステム構成内に 1 つでもインストールされている場合は、この手順に従う必要があります。これ以外の場合は、この手順は必要ありません。

- 6 ページの「Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム用の 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアをインストールする。」 - この Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム用の Sun Management Center 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアをインストールするには、この手順に従います。

## ▼ Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム用の 3.6 アドオンソフトウェアをアンインストールする。

1. 『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の付録に、`es-guiuninst` ウィザードまたは `es-uninst` コマンド行スクリプトを使用してアドオン製品をアンインストールするための手順の説明があります。「Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム」という名前のアドオン製品だけをアンインストールしてください。

## ▼ Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム用の 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアをインストールする。

1. ソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェアの入手については、この文書の 4 ページの「アドオンソフトウェアの入手」を参照してください。

2. ダウンロードしたファイルのパスにあるディレクトリに zip ファイルを展開します。
3. ホストマシンにスーパーユーザーでログインします。

4. Sun Management Center 3.6 主要ソフトウェアがインストールされているパスのディレクトリへ移動します。

ディレクトリは、次のようになります。

`installed_directory/SUNWsymon/sbin`

5. 手順 2 で使用したパスを指定して、`es-guiinst` スクリプトまたは `es-inst` スクリプトを実行します。

インストールできるアドオン製品の一覧が表示されます。

6. 「Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム」アドオン製品を選択します。

7. インストールスクリプトの残りの手順を最後まで行います。

8. 手順に従って、ソフトウェアを設定します。

インストールウィザードによるソフトウェアの設定に関する問い合わせがあります。詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

# Sun Management Center 3.6 ソフトウェアのインストール

Sun Management Center 3.6 ソフトウェアをまだインストールしていない場合は、必ずこの Version 3 アドオンソフトウェアをインストールする前に、Sun Management Center 3.6 ソフトウェアをインストールする必要があります。

---

注 – Sun Management Center 3.6 ソフトウェアのインストール処理には、Sun Management Center ソフトウェアの以前のリリースのアンインストール処理が含まれています。以前のリリースからのアップグレードに関する詳細は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

---

## ▼ Sun Management Center 3.6 ソフトウェアをインストールする

1. インストールの準備に関する詳細は、『Sun Management Center 3.6 Sun Fire、Sun Blade および Netra システムのための追補マニュアル』を参照してください。
2. 主要ソフトウェアのインストール手順は、『Sun Management Center インストールと構成ガイド』を参照してください。

Sun Management Center の以前のリリースをアップグレードする場合は、現在インストールされているリリースからのソフトウェアの更新に関する情報を読んでください。

- a. この手順の一部として Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用のアドオンソフトウェアをインストールしてはいけません。

インストール手順の中で、アドオン製品を選択するダイアログが表示されます (『Sun Management Center インストールと構成ガイド』の「図 1-3 アドオン製品」)。ここでは、「Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム」アドオン製品はインストールしないでください。

3. 6 ページの「Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム用の 3.6 Version 3 アドオンソフトウェアをインストールする。」で説明されている手順を実行します。

---

## 判明している問題点

### 「CPU ユニットテーブル」で使用不可の CPU の状態が online と表示される

CPU が使用不可の場合、「CPU ユニットテーブル」のエントリのほとんどのプロパティは正しい値 -- (ハイフン 2 個) で表示されます。ただし、「CPU の状態」プロパティの値は、誤って online という値が表示されます。

回避策: psrinfo、prtdiag、または LOM:>showcomponent コマンドを使用して、正しい CPU の状態を示す値を表示します。

[6395173]

### 動的再構成 (DR) 操作後、または PSU か HDD のホットスワップ後の picl の再起動

DR 操作、または PSU か HDD のホットスワップのあとに、このアドオンソフトウェアが提供するテーブルが更新されるようにするために、picl デーモンを再起動する必要があります。

Solaris 8 または 9 の場合

```
# /etc/init.d/picld stop; /etc/init.d/picld start
```

Solaris 10 の場合

```
# svcadm restart svc:/system/picl:default
```

[6247392, 6306023]